

沿線の魅力 伝える楽曲

大雄山線 春めき財団が制作
開業100年



「大雄山線の歌」を制作した古屋さん
＝16日、南足柄市内

小田原、南足柄の両市を結ぶ大雄山線の開業100周年を記念し、早咲き桜の普及に取り組む「春めき財団」（南足柄市塚原）の古屋富雄理事長が作詞・作曲した「大雄山線の歌」が同財団の公式YouTubeチャンネルで公開されている。

大雄山線を運行する伊豆箱根鉄道（静岡県三島市）は4月から、古屋理事長が品種登録した早咲き桜「春めき」をイメージしたピンク色のラッピング車両「春めき電車」を運行している。

大雄山線の歌は、歌詞に春めき電車や沿線を代表する名刹・最乗寺などが登場するスローテンポの楽曲で、地元の魅力を優しく伝える仕上がりとなっている。古屋理事長は楽曲を著作権に制約がないフリートラックとして公開しており、地元住民や観光客らが交流サイト（SNS）に写真や動画をアップする際、BGMなどとして使用することを呼びかけている。

古屋理事長は「この音源を自由に活用して、SNSなどで春めき桜や沿線の風景を発信し、南足柄の魅力を広めてほしい」と話していた。

（松浪 空矢）